

癌化学療法 投与計画書 (新規・変更)

カルテ番号

氏 名

生年月日

性別

病名: 多発性骨髄腫

患者本人へ説明した内容:

プロトコール名:DBLd療法(移植適応 7サイクル目以降)

クール目
開始日
次回予定日

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m²)

	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	DAY 2	...	DAY 28	DAY 29	標準投与量
							1月 0日	1月 1日		1月 27日	1月 28日	
1	レナリドミドカプセル(5mg)	10mg/body		経口		Ccrが30～49ml/minの患者は5mg/body	○	○	...	○		標準投与量
2	レスタミンコーク錠(10mg)		3錠	経口		ダラキューロ投与 1～3時間前に内服	○					
	カロナール錠(200mg)		4錠	経口			○					
3	レナデックス錠	※8mg/body	※8mg	経口			※○					
4	ダラキューロ	15mL/body (ダラツスマブとして1800mg)		皮下注	3～5分 かけて投与	調製後 4時間以内に投与	○					ダラキューロ 15mL

※DBLd承認の臨床試験ではday1はデキサメタゾン10mgではあるが、
当院血液内科と相談の上、当院では割線のないレナデックスでの処方をするため8mg/bodyとする。

(承認プロトコール通り、デキサメタゾン10mgを処方したい場合はデカドロン錠4mg 2.5錠で処方)

※レナリドミドは10サイクル目以降、忍容性が良好な場合は15mgに増量可

1サイクル: 28日
投与日: ダラキューロ day1
レナリドミド day1-28

臨床試験では、Dara→Borの順に投与しているが、
メーカー確認したところ、投与順に意味はないとのこと。
当院では他レジメンに準じてBor→Daraの順で投与とする。

《注意事項》
1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。